



第129回 かわさき起業家オーディション
「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」受賞

ヒトとワンコがシェアできるフードで 支えるペット共生社会



株式会社ワンズデイリー

代表取締役

森崎 繭香

代表取締役

森崎 成仁

私たちワンズデイリーは「ヒトとワンコがシェアして食べられるフード」を提供しています。今の日本の食品基準では、ペット用フードやおやつは「雑貨」のカテゴリーであり、「食品」ではありません。そのため、人が食べる「食品」には使えない添加物や保存料も、多かれ少なかれ使われていることが現状です。また、「雑貨」なので製造プロセスや品質管理のルールが緩く、食品衛生管理者の資格がなくても販売可能です。でも、愛犬家にとってのワンコは家族の一員。人と同じように、おいしく、安全なものを食べてほしいと考えている人がほとんどだと思います。そこで、人間の食用基準に則った、人間が食べてもおいしいペットフードを提供するため2018年よりワンコのフード事業を立ち上げました。

ワンズデイリーがつくる商品は、

- ① 人間の食用基準で「食品」としてつくる、安心安全な「食」
- ② ワンコの健康に寄り添ったからだにやさしい「食」
- ③ ワンコがよろこぶおいしい「食」
- ④ 人間が食べてもおいしいと感じる「食」

これらをすべて満たす、本当の意味での「リアルヒューマングレード^(*)」のフードです。人とワンコが同じものを食べながら、幸せに暮らしていける日常の実現を目指します。

※リアルヒューマングレード：人が口に同じ基準で作られていること

■受賞したビジネスに至った経緯

今から5年ほど前、我が家の愛犬リク（当時2歳）のお腹に、赤い湿疹のようなものができました。なかなか改善しないので、獣医さんや専門家にお話を聞き、いろいろ調べたところ、どうやら「食べ物のアレルギーかもしれない」ということが分かってきました。

共同代表の一人である私、森崎蘭香はフードコーディネーターとしてお菓子や料理の研究を重ね、レシピ本を出版するなど、長年「食」に携る仕事をしていました。しかし、身近な愛犬の「食」に関しては、まったくの無知であったのです。

市販フードには添加物が入っているものも多いので、無添加で体にやさしい食事を手作りしてリクに食べさせるようにしました。すると、しばらくして赤い湿疹のようなものはきれいに消失。それから今まで、リクは特に大きな病気をしたことがありません。もうすぐ8歳になりますが、今もとても元気に過ごしています。

このことをきっかけに、ペットの「食」について真剣に考えるようになりました。今の日本のルールでは、ペットフードは「雑貨」で「食品」ではないこと、「食品」には使われない添加物や保存料が使われていること、「食品」グレードのペットフードは、ほぼ市販されていないということも知り、驚きました。

今、少子化や核家族化などを背景に、ペットの家族化が進んでいるといわれています。愛犬家なら誰も「ワンコには健康でいてほしい」、「安全なものを食べさせたい」と願っているはず。それなのに、食事に関しては、人とペットは違うものを食べることが一般的です。現状、市販品で「食品」グレードのフードを見つけることは困難ですし、毎日のワンコのご飯を手作りに切り替えるのもなかなか難しいと思います。ワンコの栄養についての知識を持っておらず「安全な食事をあげたいけど、どうしたら良いか分からない」という方は、きっと世の中にたくさんいるのではと考えました。そういう飼い主をサポートしたいという想いからワンコのフード事業をスタートし、2020年に法人化しました。

■サービスの特徴

私たちが提供するフードは、保健所の審査を受け、「菓子製造業」の許可を取得した厨房で一つ一つ手作りしています。ほとんどの商品が「雑貨」として扱われるペットフード業界において、人も食べられる品質での「食品」グレードであることが、他社製品との大きな差別化ポイントになっています。

バナナ以外はすべて国産の食材を使用し、「米粉のクッキー」や「米粉のシフォンケーキ」など、安全で無添加にこだわった商品を開発しています。また、長年フードコーディネーターとして培ってきた知識と経験を活かしていることも特長です。試行錯誤をくりかえし、おいしくて体にやさしいフードを作り上げています。

おかげさまで、現在ECサイトでプレ販売しているフードはリピート率70%以上となっています。製造が追いついていないという状況を改善しながら、今後も、既存のペットフード市場とは一線を画したポジションを確立し、人とワンコが同じものを分け合って食べられる、幸せな日常をサポートしていきます。

■現状の課題

一番の課題は、事業拡大に向けての経営リソース不足です。現状、8名のスタッフとともに商品をすべて手作りしていますが、専門的な技術が必要な工程もありますので、今の体制のままだと大量生産はできません。

しかし、プレ販売のリピート率の高さからも分かるように、安心して食べさせることができるフードへのニーズは高まっています。「ワンコの体にやさしいフードをあげたい」、「安心して、ワンコも喜ぶものを食べさせたい」と考えている飼い主はたくさんいらっしゃいます。こうしたニーズにすべて応えていくためにも、生産体制の強化が必要です。味や品質を落とさずに、製造工程をどう効率化していくかが、今後の展開の鍵だと考えています。

■今後の展開

先ほども述べたように、事業拡大に向けて生産体制の効率化を迫られています。それを具体化しつつ、4年後にECユーザー数1.5万人、年商2億円、営業利益率20%の獲得を目指します。そのために、設備投資や人材の補強は欠かせません。そこに合わせて製造工場の移転をおこなったところです。加えて、生産パートナーの確保、自社生産とのハイブリッド体制の構築なども視野に入れています。

もう一つの展開としては、フードの製造販売と並行して、「ワンコの食育サポート事業」も進めていきたいと考えています。飼い主が自分でおいしいフードを手作りできるよう、Webでの料理教室の開催や、動画による作り方・レシピ公開などを実施。ワンコの健康維持を支え、飼い主の「食」に対する意欲向上に貢献していきます。

さらに、ドッグサロンやドッグカフェとのコラボレーション商品の開発、ペット向けのフードコンサルティング事業なども計画中です。さまざまな角度から、ペットと幸せに暮らしたい飼い主をサポートできる事業として展開していくことを目指しています。

■エントリーを検討中の方へ一言

私たちは、手作りのフード販売からはじまった小さな会社です。今後の事業拡大を目指すに当たって、まずは名前を知ってもらい、繋がりをつくるために、挑戦できるビジネスプランコンテストを探していたところ、かわさき起業家オーディションの存在を知りました。

頭の中にあったビジネスプランを言語化して資料にまとめ、発表し、アドバイスをいただくということ自体、私たちにとっては初めての経験でした。選考を経て、今後の事業展開のイメージを整理していくことができたのはとても良かったです。また受賞後は、いろいろな企業から連絡をいただくようになり、「話を聞いてみたい」、「一緒に事業をできたら面白い」とお声がけいただく機会も増えました。参加することで、新しい事業展開が見えてくると思います。ぜひチャレンジしてみてください。

会社名：株式会社ワンズデイリー

住所：〒194-0013

東京都町田市原町田1-10-15

グランドメゾン青山1F

電話番号：☎042-785-5178

メールアドレス：info@onesdaily.com

ホームページ：https://onesdaily.com